

## 第23回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日時 平成29年7月11日（火）

午後5時00分より

場所 名張市防災センター 防災研修室

出席者：（敬称略）

### （1）委員

石川 裕三（市民公募）  
田麿 雄一（市民公募）  
藤本 勝（市民公募）  
姫野 光子（名張市老人クラブ連合会女性部副会長）  
吉田 敦美（名張市身体障害者互助会会計）  
寺岡 正和（名張市保育所（園）保護者会連絡協議会会長）  
松本 幸正（名城大学理工学部教授）  
中平 恭之（近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科准教授）  
中川 康司（代理出席、三重交通株式会社伊賀営業所営業係長）  
深山 美芳（深山運送有限会社代表取締役社長）  
川瀬 和也（代理出席、株式会社メイハン代表取締役）  
前田 敦志（三重近鉄タクシー株式会社名張営業所所長）  
豊永 育子（公益社団法人三重県バス協会）  
藤本 佳久（代理出席、伊賀建設事務所 道路課長）  
大茂 裕明（三重県名張警察署交通課課長）  
羽田 勇人（代理出席、三重県地域連携部交通政策課主幹）  
前田 國男（名張市副市長）  
谷本 浩司（名張市都市整備部部长）  
田中 明子（名張市地域環境部部长）

### （3）事務局

都市整備部都市計画室4名

会議の公開・非公開 : 公開

傍聴人：0名

協議案件：①市町村運営有償運送（国津コミュニティバス「あららぎ号」）の登録更新について

### 1. 挨拶

会長：中平恭之委員、副会長：谷本浩司委員

## 2. 議事内容

### <協議案件>

#### ①市町村運営有償運送（国津コミュニティバス「あららぎ号」）の登録更新について

事務局 （資料に基づき説明）

座長 更新に基づいて、変更点はありますか。

事務局 変更点は特にございません。

座長 気になるのは、利用者の減少についてです。山間地域のため、今後どうなっていくのかわからないと思います。利用者は高齢者の方が多いですか。

事務局 高齢者が中心です。利用目的はつつじが丘へ買い物に行くというものが多く、また、名張駅へ行くための利用も多いです。高齢化に伴い、バス停まで歩いて行くのが困難だという声も聞いております。国津地域の中でも、長瀬地区は、集落が川沿いに広がる中、停留所は1つしかないという現状です。この停留所を買い物のために利用する方から不便だというお声もいただきます。そこで、長瀬地区の集落のニーズを把握し、必要があれば停留所の増設も検討していきたいと考えております。

座長 ありがとうございます。その他ご意見、ご質問ございますか。

委員 25年度から利用人口が激減しているのは人口減少に伴うものなのか、もしくは他に要因があるのでしょうか。

事務局 国津小学校の廃校に伴い、無料人員である児童の利用がなくなっております。

委員 それだけですか。

事務局 その他での利用の減少もあるとは思いますが、詳細な内訳は把握していません。

委員 小学校の児童がこんなにいるのですか。

事務局 毎日利用されている分が加算されておりますので、このような数字になります。

委員 小学生の運賃は無料なのに運賃収入が増えているのはなぜですか。

事務局 平成20年度の運賃の増加につきましては、運賃値上げによるもので、それまでの運賃は一乗車100円で実施しております。25年度から26年度にかけては、総乗車人数が大幅に下がっておりますが、その中で、有料人員も減ってはおりますが、無料人員が大きく減っているのは廃校に伴い小学生の無料利用がなくなったためです。

座長 今の説明でよろしいでしょうか。

委員 少し整理します。

座長 20年度から21年度については、料金体系が替わったので、最低料金が今まで100円だったのが、200円になりましたので、運賃収入は上がっています。25年度から26年度にかけては、小学校が廃校になったことで、乗車総人数は減っておりますが、無料で通学に利用していた小学生の分の人数が減っているためだということです。有料人員も多少減少しているので運賃収入も多少減っているというところではないでしょうか。

委員 運賃が上がったのはいつですか。

事務局 運賃が上がったのは21年度です。200円から450円の運賃で運行するようになりました。

委員 運賃の上昇に伴い有料人員が減っている原因は何でしょうか。上がったから乗らないということでしょうか、それとも過疎化による人口の減少でしょうか。毎年のように運賃収入は減っているようですが。

事務局 確かに、料金体系の変更に合わせて利用は減少しておりますが、理由につきましては把握できていません。それ以降は過疎化、高齢化に伴い少しずつ減少しているというのが現状でございます。その一方で、障害者手帳をお持ちの方の無償利用が増えてきております。

委員 地域のコミュニティバスは本当にどうにかしていかなければならないと思います。形だけそれらしく運行するだけではなく、本当に地域の人々の足となる利便性があるのかを考えなければなりません。コミュニティバスを運行するすべての地域が連携し、問題解決していくためにすべてを統一していかなければならない。地域連携はこれからとても考えていかなければいけない問題だと思います。

委員 ランニングコストをどのように抑えるかということを見越していかなければならないですよ。

委員 本当に足の不自由な人は100メートル歩くのが精一杯なんです。問題を解決するには地域のコミュニティを強めていかなければならない。そのためには、三重交通さんをはじめとしてみんなで連携していけばみんながよくなるのではないかと思います。おっしゃる通り、利用者は絶対に減っていきます。免許のある限りは車を運転するんです。免許の返納制度について議論がありましたが、バスを無料で利用できるようにすればいいんです。それは予算的にだめだから諦めるのではなく、予算は考えれば出すことができます。名張市は福祉バスやスクールバスも出しているのに、なぜ一緒にやらないのでしょうか。一緒にすればコストも抑えることができます。建前だけでは考えられません。こんな無駄なことをしては新しい交通体系はできません。足りない予算はそこから出すべきです。その点、地域連携には賛同します。

座長 貴重なご意見ありがとうございます。確かに、福祉の関係との連携も今後いっそう考えていかなければならないと思います。今後、協議を重ねこの場で議論を進めていきたいと思っております。

その他、ご意見ございますか。本案件について大きなご異議もないようですので、承認させていただいてよろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

座長 ありがとうございます。本案件につきましては承認いただいたということで、今後事務局の方で速やかに手続きをお願いします。

### 3. その他

座長 その他について、事務局から何かございますか。

事務局 特にございません。

座長 それでは、これもちまして、本日の協議を終了とさせていただきます。進行を事務局にお返しします。

事務局 長時間にわたり終始ご熱心にご協議いただき誠にありがとうございました。これをもちまして、第23回名張市地域公共交通会議を閉会いたしたいと思えます。ありがとうございました。